

キリストを現代に伝える人たち ～岡野貞一～

「故郷」「朧月夜」「春が来た」など、日本人の心とも言える歌があります。元は唱歌だったこれらの歌を作曲したのは、一人のクリスチャンでした。

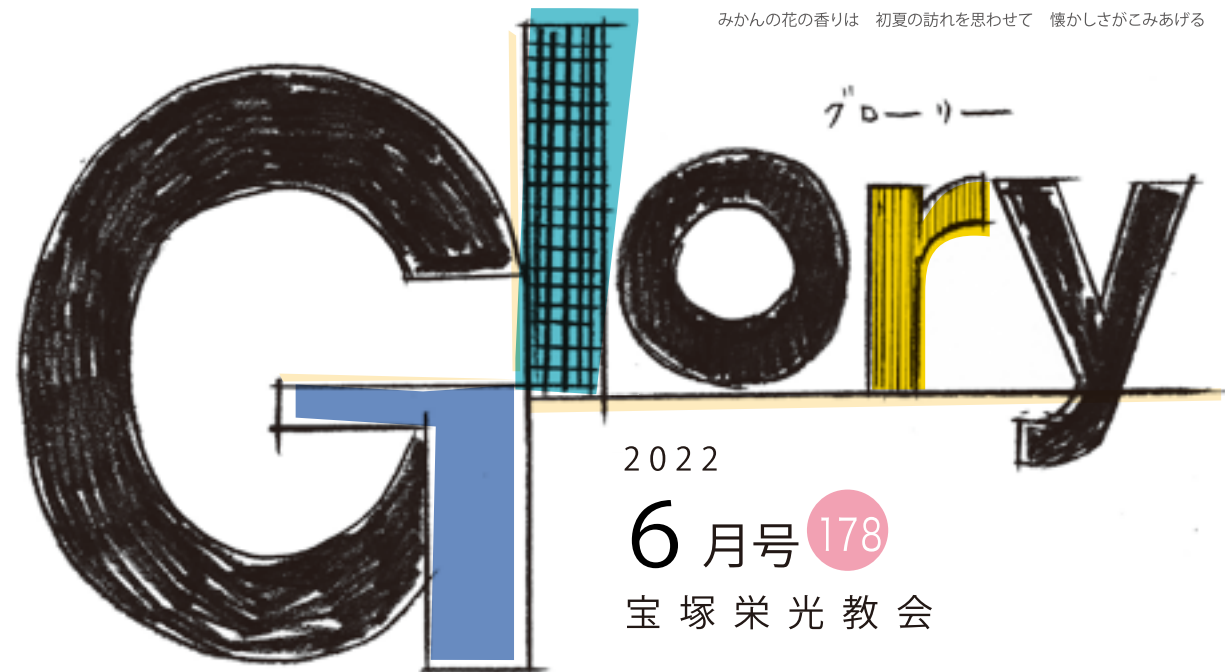
彼の名前は、岡野貞一(1878～1941)です。今でこそ、名の知られている彼ですが、その当時、作曲者としての彼を知る人はほとんどいませんでした。家族ですら、彼の葬儀の席で初めて、数々の名曲が彼の作であったことを知ったほどでした。その理由として、彼が長年、東京音楽学校の一教員であり続けたこと、また、唱歌の著作権が文部省に帰属しており、戦後になるまで作者名がほとんど明らかにされてこなかったことが挙げられます。

しかし、一番の理由は、彼自身が自分の業績を、職場や所属教会はもとより、教え子や家族にすら明かしていなかったことです。これは彼の謙虚さの現れでした。おそらく、彼は、自分の才能は神様から授けられたものであること、自分が生み出したものは全て

神様におささげすべきものであること、そして、人からの評価は、そうした彼の神様に対する姿勢を曇らせてしまうことを、悟っていたのではないのでしょうか。

私たちはとかく、自分の才能や貢献の度合いを自分で評価したり、人の評価に左右されたりしがちです。しかし、私たちに力と役割を与え、私たちの人生を意義あるものに変えてくださるのは、神様です。この神様の前に、私たちは傲慢になることなく、謙虚に生きる者でありたいと思います。

岡野の葬儀が行われた翌週、所属教会の週報にはこう書かれました、「先生の黙々としてなされた全てのご奉仕が主によって永遠に祝福せられる事と信じます」。神様の祝福は、謙虚な者に注がれます。彼は、その生き様によってそれを教えてくれているのです。



迷い出た一匹を捜し求めて

イエス・キリストが語られた例え話に、一匹の迷子の羊の話があります。百匹のうち、一匹が迷い出たのです。羊飼いは九十九匹を残して、見失った一匹を捜しに出ます。日が暮れて暗くなっても、彼は一匹を尋ね求めます。そして、深い谷に落ち込んで鳴いている羊を見つけると、彼はそれを助け出し、両肩に担いで、大喜びで帰ってきます。彼にとっては、迷い出なかった九十九匹のための喜びよりも、見つけた一匹のための喜びが、はるかに大きいのです。

この例え話は、キリストと私たちの関係を言い表しています。迷い出た一匹とは、私たちのことです。私たちは、みな罪を犯して、神様のもとから離れました。自分勝手に歩いていき、迷子になってしまいました。自分ではもとのところに帰ることができません。そのままでは滅んでしまいます。

しかし、キリストは、そんな私たちを尋ね出してくださいました。罪のために私たちが当然受けなければならなかった罰を、キリストが代わって受けてくださり、十字架

でのちを捨ててくださいました。私たちが自分の罪を悔い改め、キリストの十字架を信じるなら、誰でも罪が赦され、救われます。私たちは、無条件で神様のもとに帰ることができるのです。これがキリストの救いです。

無条件でと言いましたが、条件があるとすれば一つだけ、それは信じるということです。もしキリストが、滅びの崖っぷちに立たされている私たちのほうに、救いの手を伸ばしていただくにもかかわらず、私たちが手を伸ばして、キリストの手にすがりつこうとしないならば、私たちは確実に崖から落ちます。しかし、思い切って手を伸ばし、キリストの腕にすがると、私たちは必ず救われます。これが信じるということです。あなたの手を伸ばして、差し出されているキリストの腕をつかんでください。

聖書の言葉、「あなたがたのうちのだれかが羊を百匹持っていて、そのうちの一匹をなくしたら、その人は九十九匹を野に残して、いなくなった一匹を見つけるまで捜し歩かないでしょうか。」(ルカの福音書15章4節)

教会のひとこま

教会の庭の木々も緑色が濃くなって、これからの季節の花が咲き始めました。あんなに枯木だった紫陽花は、めきめきと葉を揃え、一粒一粒の花が目立ち始めました。お庭を散歩されている方が、小さな花を指して、「これは何という花なの?」。残念ながら、すぐに名前を思い出せなくて、ごめんなさいと謝ると、「かわいい花ね」。今、真っ盛りの桑の実の熟れた実を一つ、味わっていただきました。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル(聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

第一部 9:30～10:30

第二部 11:00～12:00



教会HP



礼拝動画



「 ホテイラン — 森の貴婦人 — 」

南アルプスの 山々が連なり
広い視界が 開けてきた
道は 目ざす八ヶ岳の山裾
針葉樹の林の中に 続いていく

今年こそは ホテイランに会うことができるだろうか

幻の花と称えられ 日本に咲く野生の蘭の中で
最も美しいと聞いている

こんもりと木々におおわれた 林の中
ひっそりとたたずむ ホテイランは
息をのむ美しさだった
小さな姿は 背丈10cmぐらい
1本の茎に 1枚の葉を出している
茶色の落葉の 重なりあった間から はえ出ている
ホテイランを 森の小人 白雪姫の7人の小人だと 言う人もいる

八ヶ岳では ホテイランの保護活動がされているという
環境省の 絶滅危惧種である
ヒメホテイランと共に 世界で2種だけが存在する
希少植物である

天地創造の前に 神は わたしたちを愛して
御自分の前で 聖なる者 汚れのない者にしようと
キリストにおいて お選びになりました

エフェソ1章 (聖書)